

1. 清正が虎狩りをしたって、本当？



虎のあご骨 桃山時代

本当です。秀吉の命令で、清正以外にも多くの武将が、朝鮮半島で虎狩りをしました。虎の肉は長生きの薬といわれ、秀吉が食べたがったからです。秀吉清正記念館には、清正がしとめたと伝わる虎のあご骨が保存されています。

2. 清正の兜は、なぜあんなに長い？



合戦の時に、目立つためです。これをかぶれば、清正がどこにいるか、遠くからでもわかります。

自分の活躍を味方に見せつけて、合戦に勝った後で、たくさんのほうびを秀吉からもらおうとしたのです。ほかの武

将も、ほうびがほしいのは同じです。みな、それぞれ変わったかたちの兜をかぶって、めだとうと努力していました。

3. 徳川家康に暗殺されたって、本当？

慶長16年(1611)3月、京都の二条城で豊臣秀頼(秀吉の子)と家康が会いました。清正はこの時、秀頼のお供をしたといわれています。その後清正は、5月から体調をくずし、6月に熊本城で亡くなりました。

そのため、家康に毒を飲まされたという説があります。しかし、飲んでから1か月以上たってようやく効き目が出るような毒薬は、当時はありませんでした。よって、暗殺説はまちがいと思われます。

4. 清正は神様になったって、本当？

本当です。清正は死後、清正公という名の神様になりました。そのお札や木像を持っていると、「勝負事に勝つ」、「泥棒が来ない」、「商売がうまくいく」などのご利益があるとされまし



加藤清正倚像 江戸時代後期

現在も清正を神としてまつている寺や神社は、北海道から九州まで300か所近くもあります。上の写真は携帯用の清正木像で、高さ10cmと超ミニサイズの神様です。

名古屋市秀吉清正記念館

〒453-0053 名古屋市中村区中村町茶ノ木 25

TEL (052)411-0035 FAX (052)411-9987

ようこそ 常設展へ II

加藤清正 編



名古屋市秀吉清正記念館

くらべてみよう

これは「加藤清正の手形」
として、江戸時代の後半に
印刷され、売られたもので
す。長さは26 cmもあります。

清正は槍の名人で背も高
かったそうですが、これほ
ど手が大きかったかは疑問
です。

清正の死後、100年以上が
たってから、「戦の達人、強
い清正」をイメージして
つくられたものと思われま
す。

